

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	左心系弁膜症手術時に併施した三尖弁輪縫縮術後の機能性三尖弁閉鎖不全症再発の危険因子と発症メカニズムの検討
所属科*	心臓血管外科
研究責任者*	中村優貴
研究実施期間	開始 西暦 2022年 4月 1日 ~ 終了 西暦 2023年 3月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	心臓弁膜症 (150-200 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2009年 4月 1日 ~ 至 西暦 2022年 12月 31日
研究概要*	機能性三尖弁閉鎖不全症 (FTR) は僧帽弁疾患を含む左心系弁膜症患者の 25-30%に合併する。FTR に対して三尖弁輪縫縮術 (TAP) を実施することで三尖弁逆流は制御することができ、術後の生命予後の改善や心不全などの心臓関連合併症を回避する上で重要とされているものの、TAP 後に 10-20%程度の症例で FTR が再発すると報告されており、そのリスク因子や再発メカニズムについては未だ明らかにされていない。本研究は僧帽弁手術時に FTR に対して TAP を実施した患者の術前、術中因子を解析することで TAP 後の FTR 再発の危険因子を明らかにすることに加えて、術後の心エコーにて心機能、弁機能に加えて弁下組織を含む三尖弁の形態を定量または定性評価にて FTR 再発のメカニズムを明らかにすることで、長期に三尖弁機能を維持するための適切な術式や治療戦略を確立することを目的とした。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	本研究で取り扱うデータは連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 心臓血管外科 中村優貴

* 記入必須項目